

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業点検・評価調書

5- -12

5-  
-12

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	他地域との連携
節	・佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信			
事業(施策)名	12 他地域連携観光促進事業		事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～H34		関連団体	県観光振興課、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光振興課、県観光協会、佐渡観光協会
事業概要	【事業目的】 県内外の他の自治体や地域と連携した観光戦略により、誘客効果とその持続性の向上を図る。			
	【事業内容】 県内外の他の自治体等に対し、効果的な観光誘客戦略による連携を働きかける。			
⑳事業計画と実績	【29年度計画】 天草やその他の離島と連携し、相互に誘客を目的とした交流を行う。 インバウンド対策として、新潟市、長岡市、燕市、三条市、村上市、会津若松市、鶴岡市との地方連携事業に取り組み、メディア招聘やPR活動によりや海外誘客の増加を図る。			
	【29年度実績】 インバウンド対策として、新潟県、群馬県、及び埼玉県との連携により、旅行エージェント招聘を行い、海外誘客の増加を図る。 天草連携では、5月に天草、上天草、吉岐、五島と「島の宝観光連盟」を発足し、10月24日～26日に「地域の力」コレクション2017や11月18日、19日アイランダーに出展し、誘客に向けたPRを行った。 インバウンドとして2本のピジットジャパン地方連携事業及びを行い、台湾・シンガポールからの誘客を図った。 東北観光推進機構との連携でメディア招聘を行い、台湾・シンガポール・香港・マレーシア・タイから誘客を図った。 平成30年1月末時点で合計21件、75社の旅行社及びメディアを受入れた。 東京駅近隣の観光案内所と佐渡観光案内所等をネットワーク化し、首都圏に滞在する訪日外国人の誘客を図った。			
課題・今後の取組	【課題】 佐渡への移動手段が海上航路しかなく、冬季の気象状況に影響を受けることから商品造成が難しい。			
	【今後の取組】 自治体連携を進め、特に、冬期の佐渡を魅力的にするプログラムを造成する必要がある。			
事業評価	【事業の達成度】 ( a (b)・c )			
	【事業実施の効果】 ( a (b)・c )			
	【総合評価】 ( A (B)・C )			

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。